

【取引要綱の変更内容】

現行の「取引要綱」および「取引要綱詳細」における変更点は、以下の通りです。

	2010年7月17日(土)まで 変更前	2010年7月19日(月)から 変更後
取引時間	24時間 米国が標準時間適用期間中は、 月曜日のAM7:00～土曜日のAM6:55。 米国がサマータイム適用期間中は、 月曜日のAM7:00～土曜日のAM5:55。 但し、海外市場が休場のときは変更あり、それ以外の時間帯は成行注文以外のみ登録可能。	【変更】 24時間 米国が標準時間適用期間中は、 月曜日のAM7:00～土曜日のAM6:45 米国がサマータイム適用期間中は、 月曜日のAM7:00～土曜日のAM5:45 但し、海外市場が休場のときは変更あり、それ以外の時間帯は成行注文以外のみ登録可能。
メンテナンス時間	米国が標準時間適用期間中は、 火曜日～金曜日のAM6:55～AM7:14 及び土曜日のAM6:55～AM12:00 米国がサマータイム適用期間中は 火曜日～金曜日のAM5:55～AM6:14 及び土曜日のAM5:55～AM12:00	【変更】 米国が標準時間適用期間中は、 火曜日～金曜日のAM6:45～AM7:14 及び土曜日のAM6:45～AM12:00 米国がサマータイム適用期間中は 火曜日～金曜日のAM5:45～AM6:14 及び土曜日のAM5:45～AM12:00
取引コース	「アイネット200」 総取引金額の0.25%相当(レバレッジおよそ200倍) 「アイネット 50」 総取引金額の2.00%相当(レバレッジおよそ50倍) 「アイネット 25」 総取引金額の4.00%相当(レバレッジおよそ25倍)	【新設・廃止】 「アイネット200」を廃止 「アイネット 50」 預かり評価残高のおよそ1倍から50倍の取引が可能(レバレッジおよそ50倍) 「アイネット50S」を新設 預かり評価残高のおよそ1倍から50倍の取引が可能(レバレッジおよそ50倍) 「アイネット 25」 預かり評価残高のおよそ1倍から25倍の取引が可能(レバレッジおよそ25倍)
ロスカット	「アイネット200」 有効証拠金が取引証拠金の100%を割ると自動的にロスカットされます。 「アイネット 50」 有効証拠金が取引証拠金の30%を割ると自動的にロスカットされます。 「アイネット 25」 有効証拠金が取引証拠金の15%を割ると自動的にロスカットされます。 ※有効証拠金＝口座資産＋評価損益－注文中証拠金－出金依頼額	— 「アイネット50及び50S」 有効証拠金が取引証拠金の30%を割ると自動的にロスカットされます。 「アイネット25」 有効証拠金が取引証拠金の15%を割ると自動的にロスカットされます。 ※有効証拠金＝口座資産＋評価損益－出金依頼額
取引証拠金	定額証拠金制 (証拠金率及び各通貨ペア毎に1万通貨または10万通貨あたりの取引証拠金を設定。)	【変更】 平成22年7月19日(月)AM7:00以降、取引証拠金は、1日1回(前日取引の値洗い時)毎に、以下の計算式により算定します。 このため、現行の定額制とは異なり、取引営業日毎に取引証拠金が変わります。(前取引営業日と同額の場合もあります。) 【取引証拠金の計算方法】 ◇ドル/円・クロス円の通貨ペアの場合 「アイネット50及び50S」 値洗いレート×1万(又は10万)通貨×2% 「アイネット25」 値洗いレート×1万(又は10万)通貨×4% ◇ドル/円・クロス円以外の通貨ペアの場合 「アイネット50及び50S」 第1通貨/円の値洗いレート×1万通貨×2% 「アイネット25」 第1通貨/円の値洗いレート×1万通貨×4% (計算例) 「アイネット50」のユーロ/ドルの取引証拠金の計算例は以下のとおりです。 第1通貨はユーロとなりユーロ/円の値洗いレートが109.070円とすると、 取引証拠金＝109.070円×1万通貨×2%＝21,814円 100円未満切り上げにより、ユーロ/ドルの取引証拠金は、21,900円となります。 ※値洗いレートとは、 値洗い時のAM7:00(米国サマータイム期間中はAM6:00)におけるBidとAskレートの仲値を採用します。 ※算定した取引証拠金の適用期間は、メンテナンス時間終了後から、次の取引時間終了時までとなります。 ※取引証拠金は、100円未満切り上げて算定します。
有効証拠金	口座資産に評価損益(スポット、スワップ)を加えた額から、注文中の証拠金と出金依頼額を差引いたものです。 ※有効証拠金＝口座資産＋評価損益－注文中証拠金－出金依頼額	【変更】 口座資産に評価損益(スポット、スワップ)を加えたものから、出金依頼額を差引いたものです。 ※有効証拠金＝口座資産＋評価損益－出金依頼額
必要証拠金	設定なし	【新設】 平成22年7月19日(月)AM7:00以降は、1日1回(取引時間終了時)毎に、以下の計算により、通貨ペア別の必要証拠金を算定します。 【必要証拠金の計算方法(「アイネットFX」共通)】 ◇ドル/円・クロス円の通貨ペアの場合 [判定レート×1万(10万)通貨×2%]×数量(ロット数) ◇ドル/円・クロス円以外の通貨ペアの場合 [第1通貨/円の判定レート×1万通貨×2%]×数量(ロット数) (計算例) 「アイネット50」のユーロ/ドル 1ロットの必要証拠金の計算例は以下のとおりです。 第1通貨はユーロとなりユーロ/円の判定レートが109.092円とすると、 必要証拠金＝(109.092円×1万通貨×2%)×1ロット＝21,818.4円 1円未満切り上げにより、ユーロ/ドルの必要証拠金は、21,819円となります。 ※必要証拠金とは、保有しているポジションを維持するために必要な証拠金の額をいいます。 ※判定レートとは、取引終了時間のAM6:45(米国サマータイム期間中はAM5:45)におけるBidとAskレートの仲値を採用します。 ※算定した必要証拠金の適用期間は、メンテナンス時間終了後から、次の取引時間終了時までとなります。 ※必要証拠金は、1円未満切り上げて算定します。
証拠金判定と強制決済	設定なし	【新設】 平成22年7月19日(月)AM7:00以降は、1日1回(取引時間終了時)毎に、有効証拠金が必要証拠金以上となっているかを確認判定します。 この確認判定時点で、有効証拠金から必要証拠金を差引いた証拠金が不足した場合、お客様が保有する全ての未決済ポジションを直ちに成行注文にて強制決済すると共に、未約定注文である指値注文等についても全て取消します。
追加証拠金	追加証拠金制度なし	【新設】 「アイネット50S」においては、証拠金判定で生じた不足証拠金を、次の取引時間終了時の15分前までに追加証拠金として入金するか、又は保有する未決済ポジションの一部又は全部決済して証拠金不足を解消すれば強制決済が執行されません。 証拠金不足の発生後、次の取引時間終了時の15分前までに証拠金不足が解消されない場合は、直にお客様が保有する全ての未決済ポジションを直ちに成行注文にて強制決済すると共に、未約定注文である指値注文等についても全て取消します。但し、ロスカットルールが常に優先されるものとします。 ※取引時間中の相場変動により有効証拠金が回復し、必要証拠金を上回った場合でも、証拠金不足の解消になりません。証拠金不足を解消するためには、証拠金不足額以上を追加証拠金を入金いただくか、保有する未決済ポジションの一部又は全部を決済する必要があります。 ※取引時間終了時間は、AM6:45(米国サマータイム期間中は、AM5:45)となります。
システム追加機能	—	【証拠金不足額の表示画面】 追加証拠金が発生した場合、追加証拠金額を画面表示します。 (取引画面◇口座状況◇証拠金不足額) 【追加証拠金解消のシミュレーション】 追加証拠金が発生した場合、追加証拠金解消のために保有する未決済ポジションの決済シミュレーションが可能です。